

亘理町震災復興計画（案）に対する意見公募（パブリックコメント）結果

参考資料1
第5回亘理町震災復興会議

[実施期間 : 平成23年10月 5日 から 平成23年10月31日 まで]
 [提案者数 : 37名]
 [提案件数 : 70件]

NO	ご意見・ご提言の内容（要旨）	同意見数	亘理町の考え方
1	復興プランとして、被災地域の住民はすべて移転すべき。	4	宅地の移転事業を行うには、対象住民皆様の同意を得る必要があります。現地再建の要望も多数あることから、津波防御対策をしても被害を抑えることのできない地域を対象に、宅地の移転事業を行いたいと考えております。
2	吉田東部の二線堤の位置について、橋本堀排水路でなく東新堀排水路や、町道長瀬浜吉田線に変更し、住める地域を拡大して欲しい。	4	吉田の二線堤の位置については、津波シミュレーション等で検証してまいりました。橋本堀より東側の長瀬浜吉田線に設置した場合、一線堤に近く貯水域が狭いため、津波の勢いを十分に抑えることができない状況でした。津波の勢いを抑えられない場合、嵩上げ道路の被害も過大となり被害を拡大する可能性があります。東新堀排水路や町道長瀬浜吉田線での整備では、安全を確保できないと考えております。
3	移転を促進する地域の、土地の買い上げ等がある場合、他の地区とで不公平である。他の地域についても何らかの措置をすべき。	1	移転を促進する地域は、町の防御対策を考慮した津波シミュレーションでも被害が甚大となるため、区画整理事業や、防災集団移転促進事業等を対象住民と協議していきたいと考えております。その他の地域については、津波浸水が予想される地域を対象に、宅盤の嵩上げ等の補助を検討しております。
4	津波被害があった浜吉田駅の位置について再考すべき。	1	浜吉田駅については、線路には被害があるものの駅舎が流失する等の被害ではなく、地域住民等から現地で早期再開するよう要望されております。復興計画では、海岸防潮堤の高さを上げるなどの津波防災対策を行うこととしており、安全性を向上させ現地で早期復旧できるようにJRと協議しています。
5	元の場所に戻りたい人もいれば戻たくない人もいます。選択できるような計画にして欲しい。	1	現行制度では、移転を選択できるような事業を行うことはできません。移転を行う事業は、津波防御対策をしても被害を抑えることのできない地域を対象に行いたいと考えております。
6	集団移転の移転先について、全員の同意を得る場所選定は困難ですので、選択できるようにして欲しい。	1	現行制度の防災集団移転促進事業については、原則、町が移転先を取得・造成するものであり、その場所も町が1ヶ所選定することが基本となっております。
7	移転を促進する地域以外においても、防災集団移転促進事業や、区画整理事業、宅地分譲事業の対象として欲しい。	1	移転を促進する地域以外については、津波防災対策等を行うことにより一定の安全性を確保することが可能な地域と考えておりますので、移転を行うための防災集団移転促進事業や区画整理事業を行うことは考えておりません。なお、宅地分譲事業については、移転を促進する地域以外の方も対象とする予定です。

NO	ご意見・ご提言の内容（要旨）	同意見数	亶理町の考え方
8	新海岸地区を高台移転できる地域に入れて欲しい。	1	移転を促進する地域以外については、防潮堤等の津波防御対策と、避難施設や複数の避難道路の整備等により、一定の安全性を確保していますので、現地再建していただきたいと考えております。なお、それでも不安である方に対しましては、町として、町の西側に宅地造成を行い分譲する予定です。
9	町が示した鳥の海湾岸の防御対策では、恐ろしくてとても住む気になれない。	4	鳥の海湾については、従来なかった吉田浜～導流堤の区間にTP7.2mの防潮堤を新たに整備し、津波の進入を防ぐほか、荒浜港町地区から湾を囲うようにTP5mの防御施設（胸壁や緩衝緑地）の整備を行います。また、避難施設や複数の避難道の整備等により、減災となるような計画としております。居住地域については、町の防御対策を考慮した津波シミュレーションにより、浸水深を2m未満に抑えた地域を設定しております。また、より安心していただくため宅盤の嵩上げ等の補助も検討しております。
10	防潮堤を津波が超えた場合、防潮堤のすぐ内側は、浸水深2mで収まらず、建物の土台毎流される可能性が高いと思うので、当該地域も移転の対象とすべき。	1	堤防を越流した場合の対策については、防潮堤の形状等を含めて専門家等の意見を聞きながら被害を抑えられるように検討していきます。
11	鳥の海湾を囲う緩衝緑地帯の案について、以前町が示した案を復活させて欲しい。	1	今回の嵩上げ道路の位置や、盛土高等については、津波シミュレーションや費用等を考慮して計画しています。津波シミュレーションの結果からも、移転を促進する地域以外の鳥の海湾周辺の地域については一定の安全性を確保することが可能と考えていますので、今回の案により整備していきたいと考えています。
12	低頻度の津波に耐用年数50～60年のコンクリートで分厚い防潮堤をつくることは、膨大な維持コストがかかり負のインフラとなりかねない。そのような構造物による津波対策をとるべきでない。	1	津波防災対策については、頻度の高い津波には防潮堤等で防ぐこととしていますが、今回の津波のような低頻度の津波に対しては、構造物のみに頼るのではなく、「逃げる」ことを基本に避難路、避難施設、更には、住民の意識醸成を行いながら対応することを考えております。
13	吉田地区の防御方策について、いつごろまで整備するのか示して欲しい。	1	概ね5年程度で整備できるよう関係機関と協議してまいります。
14	津波シミュレーションの結果、浜吉田駅東が浸水域であることや、避難施設の不足から、浜吉田駅東地区に戻る材料が不足しているため、必要な情報を提供して欲しい。	1	浜吉田駅付近については、町の防御対策により、家屋流失の危険が高まる浸水深2mよりも低い浸水深の地域となっております。避難施設の整備や、複数の避難道路整備等の減災対策を行い、一定の安全性を確保したいと考えております。また、津波浸水が予想される地域を対象に、宅盤の嵩上げ等の補助を検討しております。
15	津波シミュレーションの結果について、立面、立体、断面図も示して欲しい。	1	津波シミュレーションについて、今回は居住地域の判断するため、浸水深を計測するためのシミュレーションを行いました。立体でのシミュレーションについて、今回は行っておりません。今後も用途に応じたシミュレーションを行ってまいります。

NO	ご意見・ご提言の内容（要旨）	同意見数	亶理町の考え方
16	復旧・復興で自然を破壊しないよう、自然を活用し共生できる計画を考えるべき。	1	自然と共生しながら復興することについて、十分配慮していきたいと考えております。
17	防災無線と警報を交互に行い、効果的な避難の呼びかけをすべき。	2	効果的な避難対策の検討にあたり参考とさせていただきます。
18	500m～700m間隔で、盛土の丘公園を設け平常時は、町民のいこいの場として、非常時には10分程度で歩いて車でも避難できる場所を整備すべき。	2	荒浜地区、吉田東部地区について、半径500m程度で津波避難施設や避難場所の設置を考えておりますので、今後、具体的な事業にあたり参考にさせていただきます。
19	常磐自動車道など高い施設について、避難用に開放するようにしてほしい。	1	常磐道への避難階段設置について、NEXCO東日本と協議中です。
20	「津波避難駐車場ビル等」の車で逃げられる施設整備事業を追加してほしい。	1	常磐道に設置予定のPA・スマートICについて、自動車避難できるように検討していきます。また、そこまでの避難路も整備していきます。
21	荒浜小学校、荒浜中学校、長瀬小学校について、100年に1度の津波向けに避難所として備蓄機能を強化してほしい。	1	復興計画P21ページの施策の方向について、「津波向け避難所として、町内の小中学校等を位置づけ、備蓄機能など強化を図ります。」と修正し、備蓄機能を強化してまいります。
22	工業ゾーン30haを活用し、復興団地と位置づけ、全国・全世界に向けて復興コンペを実施し、注目度・好感度を高めるアイデアを広く募集してはどうか。	1	工業ゾーンについては、復興特区制度等を活用し、雇用の拡大や経済活性化等に寄与するよう、積極的に企業誘致を行って行きたいと考えております。
23	県内外の中高生をはじめ若手の農業希望者を募集し、亶理に定住してもらうための様々な事業を行ってはどうか。（農業後継者育成プロジェクト）	1	農業の担い手育成については、ファーム事業（研修農園・健康農園・観光農園・ガーデニング）等により行って行きたいと考えております。

NO	ご意見・ご提言の内容（要旨）	同意見数	亶理町の考え方
24	いちごについて、復興のシンボルとなるような新品種（または従来の品種の名称変更）を作ってブランド化したらどうか。（イチゴ『希望・いっぽ・夢』プロジェクト）	1	関係機関等と検討していきたいと思います。
25	海辺の防潮対策に、「親水公園を設けることによる海水滞留スペースを整備」と追加してほしい。	1	海と親しむことのできる公園については、緩衝緑地帯などを活かしながら計画していきたいと考えております。
26	人工丘を活用した子供の自然体験ができる冒険広場を整備してほしい。	1	人工丘については、自然と触れ合える施設としての活用も含め検討してまいります。
27	荒浜地区について、復興ビジョンが見えない。夢のある町づくりをお願いしたい。	1	荒浜地区については、水産ゾーンや観光スポーツエリアを配置し、鳥の海の自然等を生かしながら様々な観光施設整備等を計画し、魅力や活気のある地区にしたいと考えております。
28	常磐道に整備する予定のPA・スマートICについて、常磐道より西側に上り線と下り線を集約し津波被害を軽減できるようにしてはどうか。	1	整備予定のPA・スマートICについては、津波の避難場所としても活用したいと考えており、東側からも避難車を受け入れられる様にしたいと考えております。施設の詳細については、今後NEXCO東日本等と協議してまいります。
29	震災復興のシンボルとなる「いちご」について、原付等のナンバープレートにデザインしてはどうか。	1	今後の計画推進等にあたり参考とさせていただきます。
30	地域資源を活用した6次産業化を推進してはどうか。	1	生産・加工・販売が一体となり、生産物に震災前以上の付加価値を加えられるような施策を行って行きたいと考えています。
31	津波対策をしても、住むことが危険な吉田東部地区の移転を促進する地域に産業が来るのか？	1	産業誘致・再生ゾーンとして、優良農地への再生と、再生可能エネルギー等の誘致を検討しております。

NO	ご意見・ご提言の内容（要旨）	同意見数	亘理町の考え方
32	老人世帯が助け合って生活するための集合住宅や、昔風の長屋（コンドミニアム）の整備を検討してはどうか？	1	災害公営住宅の整備にあたっては、コミュニティの維持や、高齢者福祉などにも十分配慮しながら検討してまいります。
33	亘理地区に公営住宅を建設してもらいたい。	1	公営住宅については、亘理、荒浜、吉田地区に建設を検討しております。
34	全壊判定をされた世帯全般について、被災土地の被災前の価格での買取をしてもらいたい。	2	現時点で買取る価格について、被災の状況などを考慮した価格とされています。
35	5丁目及び築港地区以外の方で、町内の他地区へ移転を考えている場合の支援はあるのか？	1	下郡南地区に町が宅地を整備し、分譲できるよう検討しております。
36	移転を促進する地域以外の人（全壊・大規模半壊）で、自己再建する際の支援が不足しているので、国の補正等で措置されるように要望して欲しい。	1	自己再建者に対する支援拡充について、今後も国等へ要望してまいります。
37	自己再建者に対して、国や県ではなく、町独自の支援策を提示して欲しい。	1	津波浸水が予想される地域を対象に、町独自で宅盤の嵩上げ等の補助を検討しております。
38	移転を促進する地域外で家を取り壊し、他の地域に移転している人がいるので、その土地を町が買い取り、移転を促進する地域の方の宅地に利用してはどうか。	1	防災集団移転促進事業の制度上、まとまった土地へ一括移転する必要がありますので、利用は難しいと考えます。
39	復興計画について、もっと具体的な内容を記載して欲しい。	4	震災復興計画は、復興の方向性を示し各種団体等へ要望していくための計画と位置づけております。詳細な内容については、国の制度や予算等の内容が決まり次第お示ししたいと考えております。

NO	ご意見・ご提言の内容（要旨）	同意見数	亘理町の考え方
40	復興プランを少しでも早く被災した方々に提示して不安解消を図るべき。	1	震災復興計画につきましては、年内中の策定を予定しております。詳細な内容についても少しでも早くお示しできるよう努力してまいります。
41	若い世代に復興プランづくりに参加してもらい「日本一住みやすい町・安心な亘理」へ夢と希望を盛り込むべき。	1	可能な限り若い世代の意見を取り入れるように取り組んでまいります。
42	浸水深に合わせた耐津波住宅（1階RCや、盛土、基礎の高上げ）を普及させ、津波による住宅被害の軽減を行ってはどうか。	1	移転を促進する地域以外の津波浸水が予想される地域を対象に、宅盤の高上げ等の補助を検討しております。
43	RC造3階以上のビルについて、屋上を避難用とするため外階段・耐震・耐津波の設計とするようにしてほしい。	1	震災復興計画では、町と民間で避難ビルを確保していくこととしています。避難ビルの設計については、避難者の安全を確保できるよう討ってまいります。
44	各戸に非常用電源として、ソーラー発電と充電器装置を義務化し、防災情報と携帯電話の不通解消を早期に確立してほしい。	1	防災情報については、停電時でも確実に情報を伝えることができる、防災無線を整備したいと考えております。携帯電話の関係については、携帯事業者にお願いをしていきたいと思っております。
45	港の整備について、アースドリル杭工法で高上げしたらどうか？	1	各施設の具体的な工法等については、津波に強い構造物となるように今後検討させていただきます。
46	意見交換会の開催は、地区毎に行うなど検討してほしい。	1	意見交換会等については、対象地区毎にする等分かりやすい説明会となるようにしていきたいと考えています。
47	防災FMの活用について、災害時や被災時のみでなく、日常的に防災行政無線と併用していくべき事業だと思っております。	1	防災FMについては、可能な限り継続していきたいと考えております。

NO	ご意見・ご提言の内容（要旨）	同意見数	亘理町の考え方
48	亘理町が深刻な被害であることをもって、国や県に対して話してほしい。	1	今までも国や県等に亘理町の深刻な被害状況を説明し、復興に向けての様々な要望を行ってまいりました。今後も復興計画が実現できるよう強く要望してまいります。
49	第4次総合発展計画と混在していないか？復興と震災前の計画と明確に分けて予算執行して欲しい。	1	第4次総合発展計画と整合を図りながら、復興計画を策定する必要があると考えております。予算に関しては、復旧・復興のために十分吟味して執行してまいります。
50	被災者の意見聴取・反映の機会が少ないと感じている。数多くの機会を設けて欲しい。	1	可能な限り多くの機会を設けられるよう努力してまいります。
51	荒浜小学校について、もう少し内陸部に移転してもらいたい。	1	現校舎は周りより約1m以上盛土された土地に建っており、津波の浸水は60cm程度でした。海岸堤防や河川堤防の高さを上げる等の整備を行い安全性を向上させて、現地で再開したいと考えております。
52	今後の復興に対して、住民の意向は世代別に把握すべき。	1	11月に行いました2回目の住民アンケート調査では、世代間の考えを把握できるよう実施させていただきました。今後も世代毎の意向把握に努めてまいります。
53	意向調査の公表について、必要な内容を速やかに公表するようにして欲しい。	1	意向調査の集計等について、早く公表ができるよう努力してまいります。
54	意見募集について、意見提出者の範囲を拡大してより多くの方のアイデアを募集したらどうか。	1	意見募集以外でも、多方面の方のアイデアを参考とし、より良い復興事業ができるよう努力してまいります。
55	身近な問題に対する詳細な計画を示して欲しい。	1	事業の詳細につきましては、可能な限り早く被災された皆様にお示しできるよう努力してまいります。